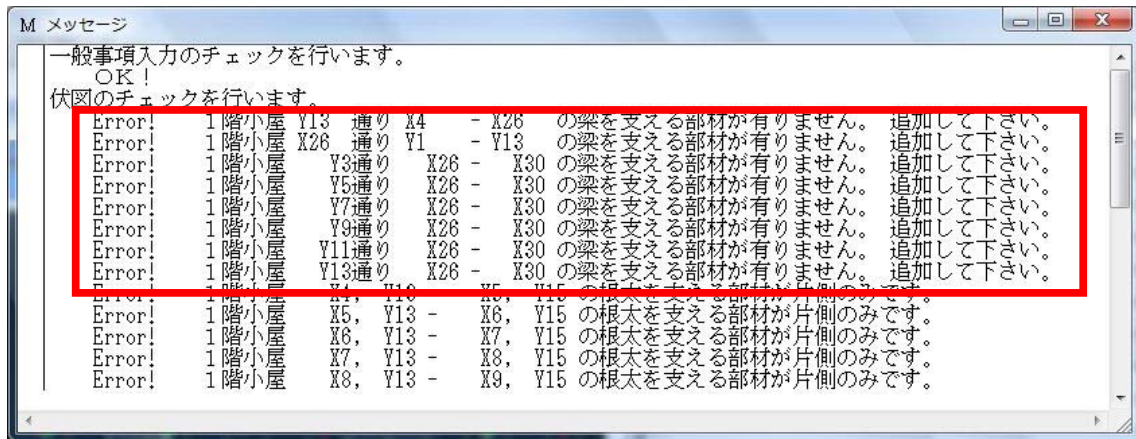


質疑：計算をするとエラーメッセージが出てしまいます。

【1階の柱入力で X26-Y3, X26-Y9, X26-Y13 部に実際にはない柱を入力するとエラーが解消出来るのですが、どのようにして直せばよろしいでしょうか？】

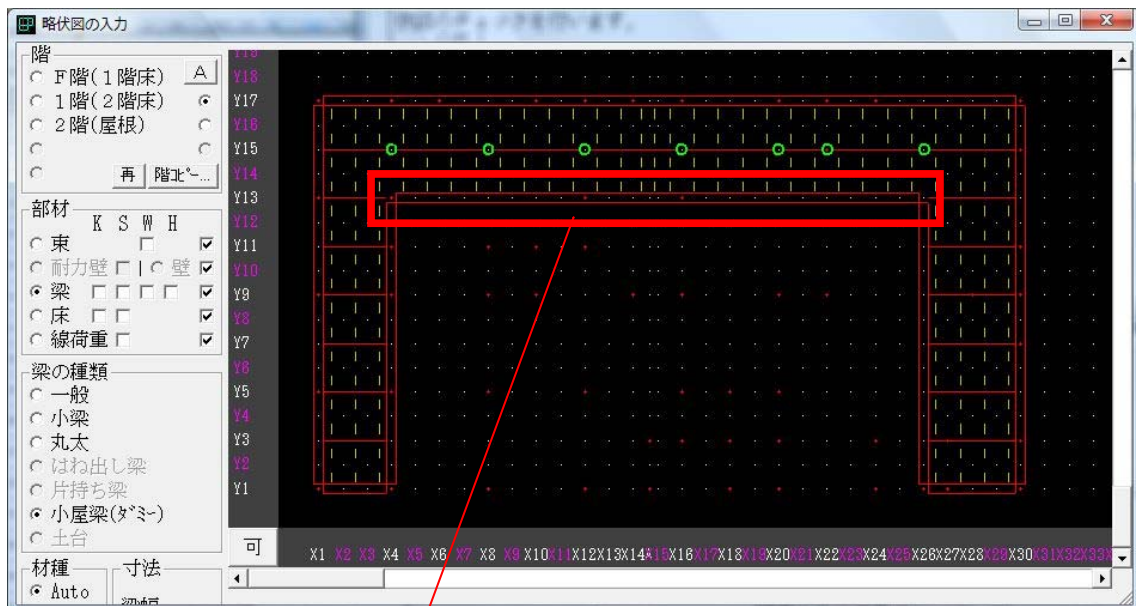


回答：まず、(柱)を配置して問題を解決できるとの手順は、疑問と考えます。

【エラーメッセージ】に従い原因を調べます。

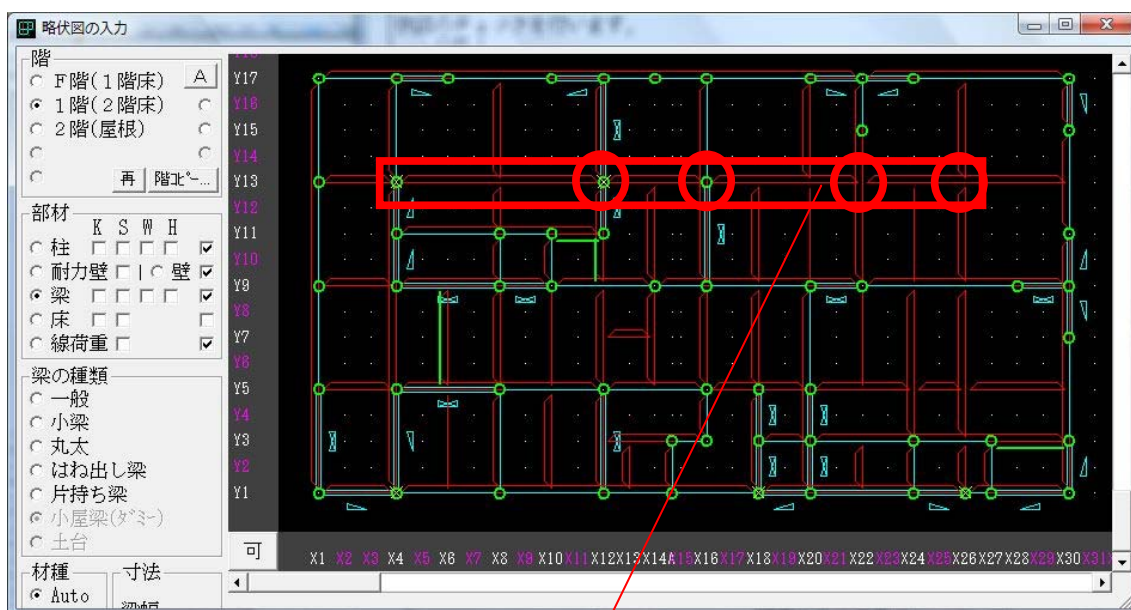
エラーは、[1階小屋]と示しています。

そこから調べてみましょう。



[Y13 通り X4~X26 の梁...]を見ると[小屋梁(ダミー)]が配置されています。

[小屋梁 (ダミー)] は、直下に支える部材 (壁/柱/梁など) の通りが必要です。
直下の部材配置を確認します。

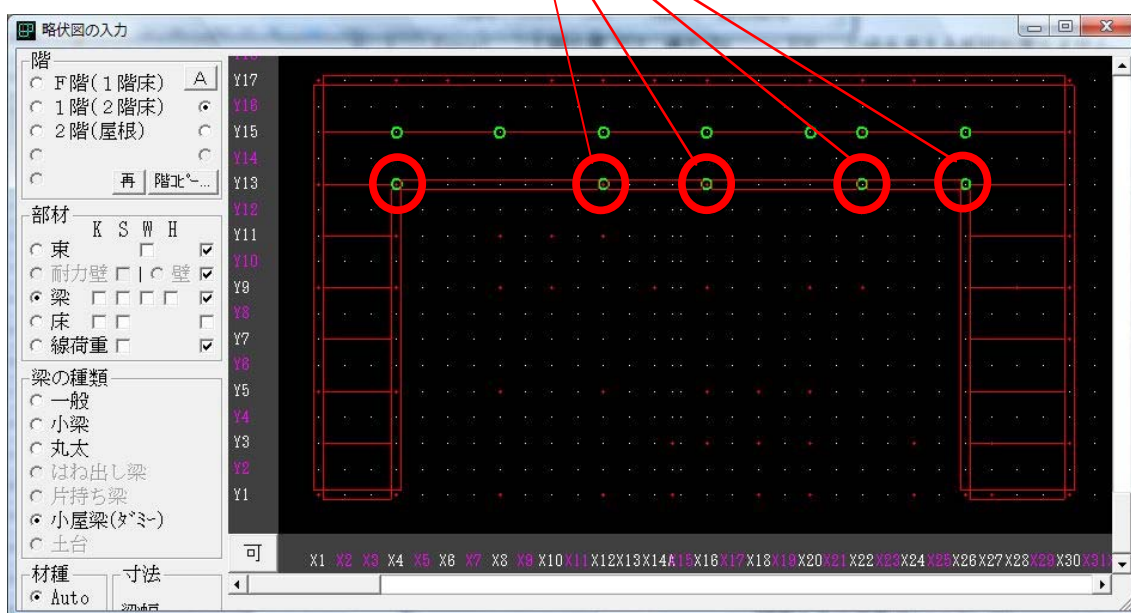


直下には、梁部材が配置されています。

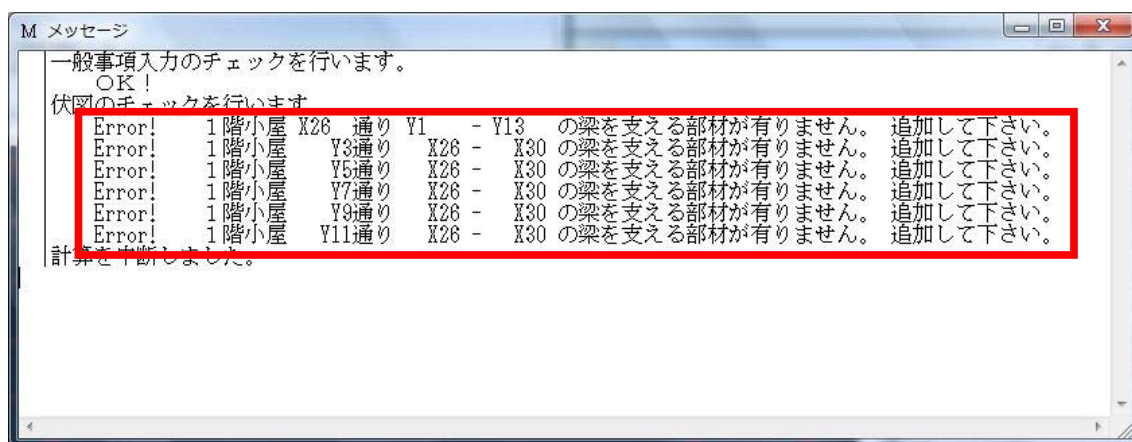
[小屋梁 (ダミー)] の直下の受ける部材では、同一方向の部材と交差する部材がある場合は、その位置で[束]を配置して[小屋梁 (ダミー)] が負担する荷重を伝達する部材が必要です。

今回の場合 (X12/X16/X22/X26) の4カ所が交差していますので、ここに[束]を配置する必要があります。

[束]を配置した入力画面です。



計算実行を行い[メッセージ]を確認します。

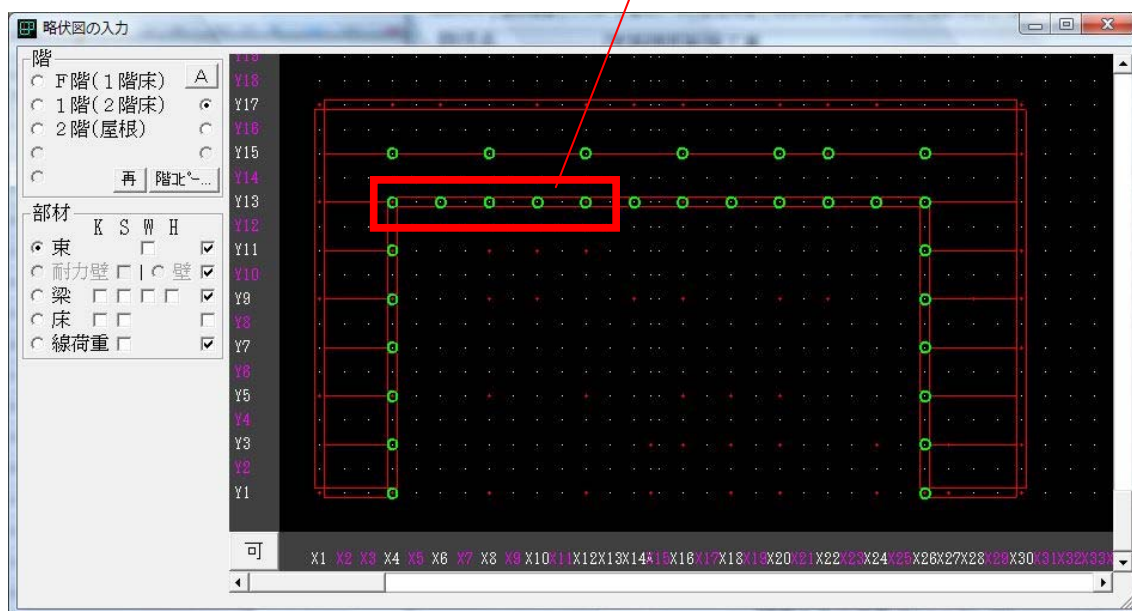


残っているエラーメッセージも同様な対応で解消します。

本来[小屋梁 (ダミー)]の役割は、[屋根荷重]を直下の部材に均等に伝える役割です。

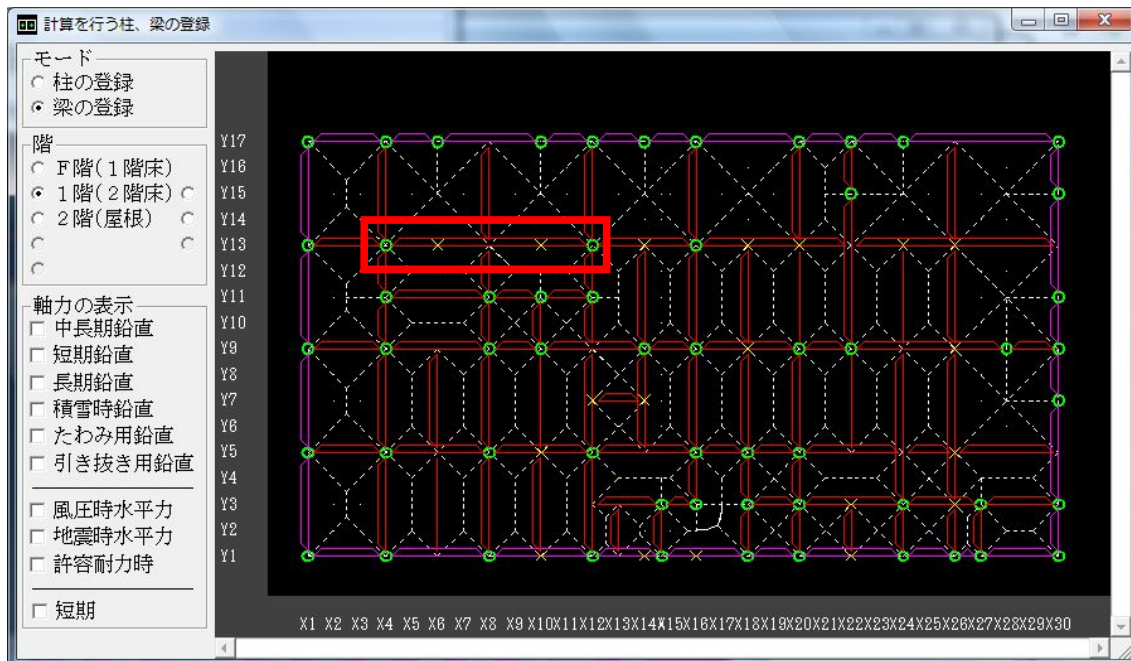
今回の様に下屋の荷重を[2階床構面の梁]を介して[1階の柱]に伝えるためには、均等に荷重が梁に働くモデルが理想と考えます。

そこで、このような場合の対応例を[束]を等間隔に配置した入力例で示します。



(直下の受け材に等間隔で[束]を配置)

計算を実行し、Y13 通り (X4~X12) の梁検定結果を確認します。



[P2/P4/P6]に[ダミー梁]→[束]を介した荷重が梁に伝達されます。

